

法政第一高等学校同窓会報

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり、連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。(規約第2条)

発行人 大石勝康 (同窓会会長) 2003年(平成15年)4月25日(金) [発行] 第28号 (題字は森田 勉校長)
編集人 斉藤利彦 (同窓会副会長) ホームページ <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~Hosei10B/>
発行所 法政大学第一高等学校同窓会 〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 TEL0422-20-8151
印刷 社会福祉法人・東京コロニー 東京都大田福祉工場 発送管理 コミナミ印刷株式会社

「教学改革」
ますます内容の充実を
付属校の重要な役割！
同窓会会長 大石勝康



二〇〇三年四月、新年度を迎え会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成十年十一月に発足いたしました学校主催の「ホームカミングデー」も昨年十一月第五回を迎え高校三十一期から四十期までのOB諸兄約百二十名、並びにご退職なさいました教職員十七名の先生方にもご臨席いただき、和気藹々の内に時の経つのも忘れ盛大に懇親会を行うことができました。特に今回は昭和年代の最終年でもあり大変な盛り上がりでございま

た。皆様方のご協力に厚く御礼申し上げます。さて、今、法政大学は昨年から今年にかけて、大変元気に活躍いたしております。皆様もご存じのとおり、昨年十月二日に文部科学省が公表した「21世紀COEプログラム」に採択された法政大学のプログラムは、人文科学研究科



女子大通り方面より体育館撮影

三井物産などと同じ信用度と判断されました。特に九十年代に清成総長が中心となつて教育研究の質的向上を目指す教学改革に着手し、厳しい環境の中、全学を挙げて対応に取り組む姿勢は、高く評価され

日本史学専攻のプロジェクト「日本発信の国際日本学の構築」で、今回の採択(東京六大学では早・慶・法のみ)により法政大学が日本文化研究・国際日本学における世界的な拠点となることが期待されております。法政一高ではこの日本文学の基礎知識の習得に力を入れております。また、皆様、二月七日の新聞各紙の記事でご存じのとおり、法政大学が我が国で初めての格付けで「AAA」(ダブルAマイナス)の格付けを得ました、この評価は十四段階のうち上位から四番目で、日立製作所や

ております。そして、これらの努力の成果として新学部設置により十一学部三十一学科に加え、伝統ある三付属高校・二付属中学校を擁していることも少子化を迎え大きな強みとして高く評価しております。この格付けの件は法政大文学理事の河端照孝さんが別稿で分かり易くご説明されておりますのでそちらをお読みください。なお、懸案の老朽化した校舎の建て替えについても粘り強く理事会にお願いしてゆきます。同窓会の今後の運営につきまして、地道に次の諸

- 事項の遂行を図ってまいります。
- 一、組織の強化拡充(会員の掘り起こしと住所の解明)
 - 二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(会費お振込みの際五千元、一万円のご寄付を頂き深謝申し上げます)
 - 三、同窓会会報の定期発行と内容の充実(少人数の会合でも結構です、ご寄稿ください)
- 今後同窓会の発展に努力を重ねてまいります。会員の皆様のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

同窓会クラス委員総会 開催のお知らせ

平成十五年年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。ぜひご出席をお願いいたします。

日時・平成十五年六月六日(金) 午後六時半開会

場所・法政大学市ヶ谷新棟

ボアソナードタワー25階B会議室

会費・三千元(当日受付・軽食用意します)

卒業後四年以内のクラス委員は無料です。

議題・平成十四年度事業報告、決算案の件

平成十五年度事業計画、予算案の件、その他

委員の方は、出欠を同封のハガキにて五月二六日必着でご投函願います。

発展に向けて、さらなる「支援を」 一中・高校長 森田 勉



同窓生の皆さまには、常日頃、学校に対し多大なご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、昨年四月の校長就任以来、「ヨチヨチ歩き」ながらも、大きな事件や事故もなく、何とか無事にこの一年間を全うすることができました。これも、同窓会の先輩諸兄に、陰になり日向になりサポートしていただいたおかげであると、心より感謝しております。

幸いなことに、生徒たちは、「自主・自律」の精神を満喫し、伸び伸びと学校生活を過ごすことができています。私が、生徒たちの持っている能力のうちで最もすばらしいと評価しているものは、「仲間と一緒にワイワイ、ガヤガヤと楽しく

明るく、しかも主体的にやりながら、共に向上していくこととする能力」でありま

す。この能力は、生徒たちが今後どのような道に進もうとも、大きなアドバンテージになるものと確信しています。この能力は、一高という、皆様が「進取の気象 質実の風」のもとに築き上げてこられた、温かい人間的雰囲気の下での自由な環境によって、はじめて育まれるものです。ですから、現在の生徒の優れた能力は、多くの先輩方から頂戴した、本当に貴重な財産であるとも言えるわけです。

ところで、今年度の大学一部推薦率は、過去最高の93・4%（放棄者を含めれば96・3%）に達しました。これは、ほぼ「全入」が実現している、といっても過言ではない、数値です。現在、法政大学は、皆様ご承知のように、「日本で一番元気のある大学」あるいは「唯一の勝ち組大学である」と、高い評価を博しています。その大学に、多数の学

生を輩出する本校に対しての、内外からの期待は非常に大きいものがあります。その期待に応えるためには、本校教職員の教育内容充実に向けてのさらなる努力は勿論のこと、同窓会の物心両面にわたるご支援が必要不可欠であると考えます。今年度は、OBの皆様、本校の教育に対して直接的に関与していただく機会を増やしていく所存であります。その節には、皆様の豊富な経験や知恵をお借りしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第五回ホームカミングデー と一中高の現況報告 運営委員・牛田 守彦

去る11月23日、本校記念会館にて、第5回ホームカミングデーを開催し、旧教職員の皆様および31期（昭和54年卒）から40期（昭和63年卒）の卒業生の皆様をお招きし、大いに盛り上りました。懇親会に先立ち、式典では金子征史法政大学常務理事他のご挨拶をいただいた後、11期（昭和34年卒）同窓生で、日本教育情報機器株式会社・法政大学理事の河端照孝様よりご講演を賜りました。約100名の参加者がありました。

次に一中高の現況ですが、まず一つは、本年度より公立学校では学校完全5日制がスタートしたことはご存知の通りですが、本校では当面従来通りの6日制としています。報道されております通り、5日制により1日あたりの授業時間数が増えた、行事が減った、というような弊害が指摘されております。本校は、かえってゆとりのない事態を招くことは得策ではない、授業時間数も削減しないとの考えです。また、次年度から「情報科」という授業が高校1年生よりスタートします。そのためにコンピューター教室およびLL教室をインターネットなどでもできる情報教室に改修しました。

その他本年度で特筆すべきことは、この3月卒業の高校3年生の法政大学への推薦率が90%を越えたことを上げべきでしょう。

今後ともご理解とご支援とをよろしくお願いいたします。

今年度も初秋の9月末に第56回プラタナス祭が行われる予定です。多くの同窓生のみなさまのお越しをお待ちしております。

上げます。末筆ながら誠に恐縮でございますが、同窓会諸兄のご多幸と本校の益々の発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

**プラタナス祭
を終えて**

教員実行委員長
小川 太郎

に開催されました。ご存じのようにプラタナス祭は実行委員会が主体となつて行う中央企画と、各クラスが自分たちのクラスの特色を生かしながら行うクラス企画の二本柱で構成されており、さらにPTA主催の作品展示会も加わり、大変規模の大きい行事となっております。

昨年度の生徒実行委員会では中高ともに、「日常の学校生活の中で育んだ精神や力を表現し」ようと、「全体で協力してひとつのものに形作っていくこと」

が共通の目標として設定され、4月より準備に邁進していきました。

中学については、クラス企画で各クラスにつき一つの映画を自分たちが行う企画のモチーフとして選びそれをもとにした企画内容が吟味され、中学全体が映画村のように機能するよう意識されました。また、中央企画では各クラスが分担してパーツを作り、最終的には巨大なステンドグラス様の作品を完成させました。

高校では中央企画としてホームページの立ち上げやパンフの作成などの広報活動、校内の装飾が事前に行われ、当日はオープニングから始まり、中庭企画や地下体育館企画、そして後夜祭など多岐にわたり、加えて18ものクラス企画とあわせて壮大なものとなりました。初日は雨にたたられ一部企画に支障を来したものの、2日間を通じて8千人を越える来校者を迎えることができました。

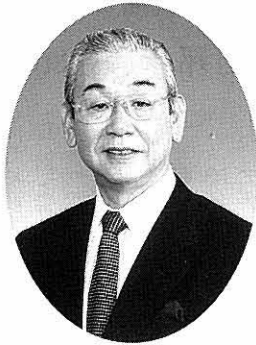
「躍進する法政」

河端照孝 (第十一期)

経営学部同窓会会長

母校を支援する卒業生のみな様と教職員の先生方に心から感謝申し上げます。

ご承知のように法政大学は「開かれた法政21ビジョン」の旗印の下に清成改革の真最中です。十一学部体制もおかげさまで、九万三千人を超える受験者数をみせて史上初の記録となりました。早慶の苦戦を我が身の苦戦として全力で取り組んだ清成改革をご支援してくださる卒業生のみな様の声援とご協力の力が大きい



ものと重ねて御礼申し上げます。

皆さまも新聞記事等でご覧になったと思いますが、学校法人初の格付け「AAAマイナス」は超優良企業と同等の高い評価を母校は受けました。これは財務面の評価ですが、その裏付けになるのは、借金した場合の返済能力、学生から入学したいと思われる教養環境の整備が、人や物つまり教授人の元気度やキャンパス整備の現状など幅広い高い場所から格付けはなされているわけです。この資格を得たことを一口で云うと授業料収入依存体質からの脱皮の第一歩ということなので

す。少子化と大学間の大競争時代という負の面を持つ教育市場ですから、トリプルAを得る学校は、日本の場合、無理というもの。しかし、母校はそれを目指します。その中心と旗印が清成改革という名で呼ばれているものと、ご理解していただければ幸いです。

あと数年でそれが達成されるものではないところに、苦しい道とやりがいのある仕事がたくさん残っております。まずこれから大学院の拡充整備が始まります。そして優れた教育の確保とキャンパス整備です。もちろん法政中高すべてにその新しい波は来ます。中高大の一貫教育、男女共学等々これが最善となれば幸いです。それらは人まかせではなりません。私

個人の考えですが、現役一中高生と共に人手を頼らず、自校の校庭の草むしり位をやりたいと考えております。これは皮肉で云っているではありません。数年前に校友理事、評議員の諸先輩と一中高の施設見学がありました。その席で大先輩の校友理事に「河端君ここへ来て校庭を見なさい。この草ボウボウはなんだ。君たち一中高の卒業生に愛校心がなくなつて、私達の胸をうつことが可能と思ふのか。君は甘いぞ」と注意を受けました。自分たちで出来る努力を精いっぱいしてこそ、他の人の心を、一中高を支援しようという気持ちでなくてはならないことを知りました。

どうか私のいわんとしている真の意味を現役学生や教職員の方々にそして卒業生の多くの方がご理解し、ご協力を心からお願いします。

それらがひとつになってこそ、母校の躍進は永遠のものになるのです。

平成14年度 事業報告書

総務委員長 室山 肇

(平成14年)

- 4月6日 法政大学第一中・高等学校入学式 役員参列
- 4月13日 新旧校長歓迎迎会 吉洋寺第一ホテル 会報作成打ち合わせ
- 4月16日 クラス委員総会
- 5月10日 ボアソナードタワー25階 会報発送
- 6月1日 ラグビー部関東大会(宇都宮会場)に出場、垂れ幕・お祝い金を贈呈
- 6月2日 同窓会総会 実行委員長 萩原光博
- 6月21日 寺本隆雄先生 永眠 生花献上
- 7月9日 小南印刷糊 会報印刷業者と会議
- 9月20日 法政大学校友連合会設立説明会 付属校代表として一高より3名出席
- 9月28日 法政一中・高校プラタナス祭
- 10月1日 法政大学校友連合会発足

11月24日 ホームカミングデー31期(昭和年卒)～40期(昭和年63卒)

12月8日 故寺本隆雄先生の蔵書を引き取り法政一高に寄贈

(平成15年)

- 1月18日 法政大学校友連合会新年会に一高役員出席 赤坂プリンスホテル
- 1月18日 法政大学第一高等学校同窓会役員新年初会議
- 2月8日 法政大学付属校同窓会役員懇親会(主催法政二高)横浜にて
- 3月6日 新卒業生クラス委員に対して同窓会への協力説明会
- 3月7日 法政大学第一高等学校卒業式 同窓会役員参加
- 3月18日 法政大学第一中学校卒業式 同窓会役員参加

同窓会(高55期) クラス委員一覧

- 1組 関戸 翔太 等々力 康弘
- 2組 伊藤 幸宏 多田 善樹
- 3組 大塩 圭介 矢崎 浩司
- 4組 木村 義彦 武藤 正浩
- 5組 加藤 充 ◎村岡 健太
- 6組 鈴木 翔 根本 俊一

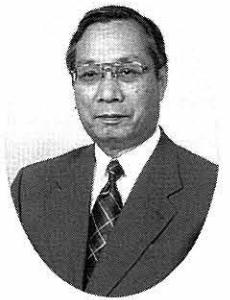
◎は学年代表

住所、勤務先の変更、改姓名等がありましたら、必ず学校の同窓会係(住所・電話番号・URLは1面タイトル下に掲載)へハガキ等にて連絡ください。

また、同窓会ホームページの「変更届のページ」よりアンケート形式で簡単に届け出が入力できますので、こちらでもご利用ください。

法政大学評議員会報告

評議員 神沼邦彦 (高校11期)



明るい話題の少ない03年の春ですが、同窓会の皆様には、益々健康のことと思えます。昨年は、大石同窓会長をはじめ、同窓会の皆様のご推薦ご支援により、法政大学評議員に選出いただき、誠に有り難うございました。

評議員としての一年間の中で感ずることは、元氣な法政大学(付属校含む)がより一層上昇気流に乗っていることです。それは、

一、教学改革の実行
03年4月よりキャリアデザイン学部が新設され11学部体制となり、更に法科大学院、ビジネススクール等、専門大学院の開設準備はいつて

二、二十一世紀COEプログラムに、「日本発信の国際日本学の構築」が採択されたこと。
三、日本の学校法人として、はじめて格付投資情報センターの「AAA」を取得し発表され、多方面の注目を集め、好印象の評価を得たこと。「AAA」は14段階の上から4番目で、一般企業では、日立、三井物産、三菱商事、東京三菱銀行等と同格の高い評価である

これらのことが評価されて大学への志願者が93千人をこえました(前年比13%)。大半の大学が志願者数を大幅に減少させている中、多に誇って良いことと思っております。
最後に同窓会の皆様に御願ひいたします、すでにご承知のことですが、昨年十月に、法政大学校友連合会が発足いたしました。これは付属校同窓会、各学部同窓会・各団体・校友会支部を一本化したものです。
法政大学がいつまでも元氣であるためには、全卒業生、校友の結集した力が必要となります。どうか皆様の積極的な参加とご協力を期待いたします。

教職員人事異動

◆専任教員退職者

若橋保男先生(体育)

一九五七年に本学を卒業、日本体育大学を経て、一九六〇年より専任教諭として就任されました。爾来四



三年間、クラス担任として多くの卒業生を送り出すとともに、運営委員も務め、一中高に大きな足跡を残されました。体操部、硬式野球部、中学テニス部の顧問として、クラブ活動の発展にも貢献されました。若々しさといつも他人への心配りを忘れない温かい人柄でみんなに親しまれてきました。長い間、ありがとうございました。

法政一高同窓会 平成13年度収支決算書

法政一高同窓会 平成14年度収支予算書

科目		収入の部 (千円)			
款	項	予算額	決算額	差異	備考
繰越金		7,820,639	7,820,639	0	
会費		3,325,000	3,475,920	△ 150,920	
(イ)	入会金	807,000	807,000	0	269名×3千円
(ロ)	新入員年会費	538,000	538,000	0	269名×2千円
(ハ)	年会費・寄附	1,800,000	1,619,920	180,080	既会員800名より減収等
(ニ)	その他会費	180,000	511,000	△ 331,000	付属校同窓会他出席者より
雑収入		100,000	203,486	△ 103,486	預金利息、名簿記念品等売上
繰入金		50,000			
	繰入金	50,000	0	50,000	
	計	11,295,639	11,500,045	△ 204,406	

科目		収入の部 (千円)	
款	項	予算額	内訳
繰越金		7,493,680	
会費		3,390,000	新入会員予定270名と既会員分他
(イ)	入会金	810,000	新卒業生入会金 270名×3千円
(ロ)	新入員年会費	540,000	新卒業生年会費 270名×2千円
(ハ)	年会費・寄附	1,800,000	既会員より年会費と寄附 900名×2千円
(ニ)	その他会費	240,000	既会員・委員会等出席者 負担金 60名×4千円
雑収入		100,000	預金利息、テレカ等売上
繰入金		1,700,000	
	繰入金	1,700,000	第17回総会出席者より会費・寄付予定
	計	12,683,680	

科目		支出の部 (千円)			
款	項	予算額	決算額	差異	備考
経常費		1,350,000	2,023,516	△ 673,516	
(イ)	学校協力費	500,000	543,162	△ 43,162	学校行事・卒業生贈り物等
(ロ)	会議費	180,000	236,168	△ 56,168	4月開催
(ハ)	組織活動費	200,000	482,722	△ 282,722	附属校同窓会懇話会参加費他
(ニ)	印刷費	20,000	0	20,000	学校のコピー一括用
(ホ)	通信費	50,000	36,600	13,400	郵便送料
(ヘ)	人件費	300,000	300,000	0	事務局員手当(年額)
(ト)	事務用品費	20,000	263,088	△ 243,088	パソコン、プリンター、他
(チ)	雑費	80,000	161,776	△ 81,776	慶弔費、打合せ食事等
事業費		1,900,000	1,958,864	△ 58,864	
(イ)	会報発行費	1,700,000	1,805,669	△ 105,669	第26号同窓会報
(ロ)	委員総会費	200,000	153,195	46,805	13年度委員総会開催費
予備費		50,000	23,985	26,015	
	予備費	50,000	23,985	26,015	
小計		3,300,000	4,006,365	△ 706,365	
次年度繰越金		7,995,639	7,493,680	501,959	
合計		11,295,639	11,500,045	△ 204,406	

科目		支出の部 (千円)	
款	項	予算額	内訳
経常費		1,340,000	
(イ)	学校協力費	500,000	学校主催行事、生体部活動、卒業生贈り物等
(ロ)	会議費	180,000	役員会、各委員会、名簿編纂等
(ハ)	組織活動費	200,000	付属校同窓会、新同窓会委員懇話会、同窓会参加費等
(ニ)	印刷費	20,000	決算、予算、一般会議資料の印刷費
(ホ)	通信費	50,000	会議開催通知、資料送付等
(ヘ)	人件費	300,000	事務局員手当
(ト)	事務用品費	40,000	パソコン等事務用品
(チ)	雑費	50,000	慶弔費、振込手数料、打合せ食事等
事業費		3,640,000	
(イ)	会報発行費	1,800,000	第27号同窓会報
(ロ)	委員総会費	240,000	委員総会開催費(60名×4千円)
(ハ)	総会費	1,600,000	第17回総会開催費
予備費		50,000	
	予備費	50,000	
小計		5,030,000	
次年度繰越金		7,653,680	
合計		12,683,680	

今まで法政大学の卒業生や付属校の卒業生にそれぞれの集まりがありました、私達の場合は法政一高同窓会です。大学卒業生は各学部同窓会・部活OB会・校友会又は地方支部の会等でこれらの各組織がバラバラに活動しておりました。

大学側もこれらが一本化して大きな組織になれば対外的にも信用が付き非常に良い結果が生じると望んでおりました。

3年程前から校友会が音頭を取り各学部同窓会や付属校同窓会に参加を呼び掛けてきました。法政一高は13年前の平成2年からすでに校友会に加入しており今回は引続き新組織の校友連合会に引継がれました。

この機会に是非連合会の門をたたいて

一本化して新たに期待の船出！
同窓会副会長 鈴木嘉能

法政大学校友連合会

大学から高校卒業生まで

みてください。いままで経験できなかった新しい世界が開けます。新しい仲間との出会いが人生に潤いをもたらせてくれます。

★入会をご希望の方は右記入会申込書に記入の上切り抜いてハガキに貼り、事務局宛お送りくださるか、またはFAXしてください。年会費は3千円です(2004年3月31日まで暫定処置)後日、郵便払込用紙をお送りします。

お問い合わせもお気軽に……
〒102-0073 千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎4F

法政大学校友連合会事務局
TEL 03-3264-1831
FAX 03-3264-4770

なお、この入会案内はホームページ
<http://www.hoseinet.com>
および携帯電話のiモードからも接続できますiモード用ホームページ
<http://www.hoseinet.com/i/>

入会申込書

法政大学校友連合会に入会したいで会報と郵便払込用紙を送付ください

平成 年 月 日

住所 〒

氏名

TEL

FAX

付属校名

卒業年 昭・平 年 月 卒

二〇〇三年度 入試を終えて 上原伸一

中学・高校とも大幅に受験者数の増加となりました。

中学では、今年から新たに二月一日にも受験日を設定し、複数受験となりました。第一回入試は「諸活動に積極的、意欲的に取り組み、リーダーシップを発揮できる生徒」に入学してもらうため、従来型の学力試験を行わず、作文と面接のみで選考を行いました。

二〇〇三年度入試は、二月二十二日の高校推薦入試を皮切りに、今年度から新たに実施した二月一日の中学第一回入試、二月三日の中学第二回入試、二月十日の高校一般入試と順次行われました。急激に進む少子化の影響や長引く不況、さらに公立学校の巻き返し策など私学全体を取り巻く環境は今年も好転せず、非常に厳しい状況が続いています。そのような状況の中、本校においては、

媒体を利用していくのは当然ですが、何よりも一番効果的なのは、友人・先輩といった身近な卒業生や在校生から本校を薦めていただくというケースです。受験時に提出してもらっているアンケート結果などから、これらのことは明らかになっていきます。こうした動向を受け、数年前から『在校生・卒業生子弟を大

切にした入試』も始めています。これからは非一人でも多くの『法政ファン』を作るために、同窓生諸兄におかれましては、ご指導、ご鞭撻、ご協力のほどをお願いしたいと思います。なお、法政大学への推薦状況(表二参照)につきましても、あわせてご報告致します。

また高校でも、推薦入試の出願数が昨年の約二・五倍と大幅に増加しました。この状況は、公立中学校での絶対評価導入という外的な要因が大きかったとはいえ、ここ数年の増加傾向を裏づけることとなりました。今後、よりよい入試制度を目指し、第一志望の生徒をより多く確保するための施策を、積極的にすすめていく所存です。様々な広告

表1 2003年度中高入試状況

	中学			高 校				
	1回目	2回目	合計	推薦	一 般			
					A	B	C	
算定員	15	90	105	73	74			147
出願者数	136	398	534	244	124	290	3	661
受験者数	122	322	444	244	120	284	2	650
合格者数	12	136	148	73	4	103	0	180
入学予定者数	11	99	110	73	1	103	0	177

高校入学予定者数は法政1中卒業生113名を含めると290名になります。

表2 2003年度 法大推薦学部・学科別一覧

学部	学科	第一部	第二部	学科計	学部計
法	法律	12		28	41
	政治	2	1	13	
文	哲	4		4	34
	日文(要簡主)	4		4	
	日文(要簡主)	3		3	
	英文	3		3	
	史	6		6	
	地理	9		9	
	心理	5		5	
経済	経済	15		15	20
	国際経済	5		5	
社会	社会政策	6	1	9	37
	社会	12		12	
	メディア社会	16		16	
	経営	19		19	
経営	経営戦略	15		15	43
	市場経営	9		9	
国際文化	国際文化	13		13	13
	国際文化	9		9	
人間環境	人間環境	9		9	9
現代福祉	現代福祉	10		10	10
キャリアデザイン	キャリアデザイン	6		6	6
工学部	機械工	10		10	36
	物質工	2		2	
	情報電子工	8		8	
	電子情報	5		5	
	システム制御工	0		0	
	土木工	0		0	
	建築	3		3	
経営工	8		8		
情報科	コンピュータ科	4		4	10
	メディアデザイン科	6		6	
計		257	2	259	259

卒業生 271名

来年度会報 広告掲載募集中
詳細は同窓会係へ(住所・電話番号・URLは1面タイトル下に掲載)

HOSEI だより

一中・一高・校内情報

サッカー部

昨年度、夏の選手権地区予選三回戦で創価高校と対戦した。忘れもしない八月二十日だった。チームは、前半に2点を奪われ、苦しい展開を強いられた。しかし、2点ビハインドで迎えた後半、1点を奪い返し、反撃に出た。残念ながら、逆転にまでは届かず、その後、逆に2点を失い、結果的には1対4と完敗した。そして、この試合が引退した三年生の最終試合となった。だが、春の総体地区予選で初戦敗退したチームが一からチーム作りをはじめた成果がそこにはあった。



創価高校は、その後、地区予選を勝ち抜き、都大会ベスト8まで進出したことを考えても、忘れられない好ゲームを戦ってくれたと思う。

二〇〇三年三月現在、高校三年生中心の法政一高サッカー部新チームは、二年生が二十六名、一年生が十五名の計四十一名で構成されている。新チーム結成後、チームにとって初めての公式戦である新人戦予選リーグ決勝戦では、都立武蔵と対戦し、0対2のスコアで惜しくも敗れた。しかし、新チームも彼らの輝かしい春・夏に向かって、現在、練習に励んでいる毎日である。今後とも、ぜひ法政一

ラグビー部

高サッカー部に熱い声援を心よりお願いします。(顧問・林)

我々法政一高ラグビー部は、昨年度、新人戦では東京都ベスト8、春には通算17度目の関東大会出場を果たすことができました。チームは大変好調で、この勢いなら悲願である『花園出場』も決して夢ではないと思っています。しかし夏ごろからケガ人が続出し、結局秋の全国大会予選ではベスト16どまりという不本意なものになってしまいました。

結果から見れば、確かに花園に届かなかったわけですからもちろん悔いは残ります。しかし同時に、選手達の心にはとても大きな財産が残ったと思います。それは仲間を思いやる気持ちです。今年のチームには仲間を大事にしようという雰囲気非常に強かったように感じます。特に夏以降にケガ人が続出したときに、その選手のケガが治



るまで勝ち続け、もう一度プレーさせてあげたいという言葉が多々ありました。これこそラグビーフットボールというものの原点ではないでしょうか。『One for all, All for one.』これを真に理解できたこと、それが今年一番の収穫です。今年こそは、ラグビー部創部以来50余年の非願である花園出場を果たすため、全力で戦ってまいりますので、変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。(顧問 功刀康久)

ギター部

も参加するライブ) 8月：△△宿(01年度に実施) 9月：文化祭ライブ(ギター部の誰もが人気者になれるライブ) 12月：クリスマスライブ(装飾もちゃんとクリスマスっぽくしてるライブ) 3月：三年生卒業ライブ(三年生は最後の出演になるライブ)

僕たちギター部では、ボーカル・ギター・ベース・ドラムなど自分の興味を持つた楽器を練習してそれぞれがバンドを組んでいます。また、週に1回はミーティングをおこない、団結力のある部活作りを目指し、日頃の練習の成果をライブやコンテストで発揮して、自分たちはもちろんお客さんにも楽しんでいただくこう！という目標を持って活動しています。

活動日は月・火・水・木・土の週5回で、年に5回ライブを行っています(場所は4F音楽室A)。活動内容は以下の通りです。 4月：新入生歓迎会にて演奏(記念館での演奏) 新入生歓迎ライブ(新入生にギター部を知ってもらうためのライブ) 5月：TEEN'S MUSIC FESTIVAL 高校対抗バンド合戦予選参加(コンテスト) 7月：OBライブ(OB



これからも新しくいろいろなことに取り組んで、幅広い活動が出来ればいいなと思っています。機会があれば、ぜひ気軽に会いに来てください。(部長 藤本周)

バスケットボール部

顧問 坂上卓男



ここ数年、中・高バスケットボール部は一定の成果を残せるようになってきました。中学は夏の私学大会で東京都3位となり、憧れの代々木第2体育館で試合をしました。また、秋の新人戦では都大会に出場し、また2名が東京都の西軍代表に選ばれるなど、輝かしい成果を残しています。一方高校は、私学の強豪がひしめく中で、ここ数年でベスト16の壁を乗り越えることがなかなかできません。しかし今年は1名が地区の選抜選手に選出され、地域では徐々に法政一高の名を広めています。

本校OBのコーチ陣の存在があります。中学は山野井健介(99年3月卒業)、高校は藤山弘幸(94年3月卒業、本校数学科講師)・塩田敦士(97年3月卒業、本校社会科講師)が勤めており、OBが指導に当たることとで、生徒も一中・高のバスケット部に誇りを持つことができるとおもっています。全国大会に出場している兄弟校の法政二高にはまだ実力では及びませんが、中高一貫のメリットと、小規模校ならではの一体感を武器にして、中・高ともに関東大会出場を当面の目標として日々努力していきたいと思えます。学校のHPにも、結果などをできる限り掲載していきますので、OBの方には、今後ともご支援を賜りたいと存じます。

軟式野球部

顧問 小川太朗

軟式野球部高校軟式野球部は、現在三年生が引退し、次年度の主力となる二年生が15人、一年生が4人の計19人で元気よく活動しています。比較的少人数のためか、チームとしてのまとまりは抜群で、日々練習に励

でいます。

練習環境は決して恵まれていないとはいえませんが、今年度の夏季大会では都ベスト4に入りました。この結果に至るまでの各試合はすべて緊張しましたが、中でも強く印象に残っているのが、国士館高校との試合です。序盤から中盤にかけては投手戦で、お互い一歩も譲らず進みましたが、6回の攻撃、3塁ランナーが相手の守備の乱れについてホームにつっこみ、クロスプレーとなりましたが判定はセーフ。このときの1点を継投で何とか守りきり勝利を得ることができました。いよいよチームが代替りを迎え、新三年生の白川主将を中心に、先輩が残してくれた精神を受け継ぎ、さらなる結果を出してくれるものと確信しています。

美術部

顧問 斎藤隆

昨年度の美術部は3年生が3人、2年生が1人、1年生が5人の合計9人で活動しました。3年生は、大学への推薦前と言う事もあり、例年、活動は低調にな

りがちですが、昨年は部員が美術系大学への進学を希望しており、2年生から研究所に通っており、そこで制作した大量の作品から、平面と立体作品を、文化祭で展示しました。ちょっとした、個展のようになりました。

彼の仕事は中学生から見

ていましたが、成長ぶりが目覚ましく、現役高校生でよくこれだけ実力をつけたものだと感心しました。尚、3月2日の時点で武蔵野美術大学に合格しています。2年生は同期生がいないので、あまり顔を出しません。1年生は、これまでではないほど、全員が素晴らしい素質に恵まれています。すでに美術系大学への進学を考えているようで、3年生の活躍に、刺激されています。11月に、志望校の一つである東京芸術大学で開催されていた、ウィーン美術史美術館名品展を皆で鑑賞に行きました。私の受験生時代の経験談や、自分で歩いてみる芸大の雰囲気も刺激になったらと考えました。学生食堂で、芸大生に混じって早い夕食をとって、次に国立西洋美術館で開催中の

ウィンスロップコレクション展を見にゆきました。金曜日は夜8時まで見られます。館内に入ってから、自由行動として、解散しましたが、生徒たちは閉館まで見ていて、家に戻ったのは9時から10時だったそうです。私にも楽しい一日でした。今年度が楽しみです。

陸上部

僕たち陸上部は個人個人、そしてチームの目標である全国制覇に向けて日々練習しています。練習は短距離・中距離・長距離に分かれて、その日のコンディションや今自分に何が足りないのかを考え、それに適したメニューを行って行きます。そしてメニューはみんなの意見を聞いて決めていきます。練習日は基本的に木曜日と日曜日以外毎日、雨の日や競技場の使えない日などは屋内で筋肉トレーニングなどを行っています。

ですが、仲間が走っている時には応援したり、サポートをしたりして、チームが一つとなりまします。

そして夏には約一週間ほど合宿があります。時間もあるし、OBの方々もきてくれるので、普段より高度



な練習ができます。そして合宿から帰ってくると、みんなたいい足が速くなっている、体力がついていたりして、パワーアップしています。この合宿は練習のためだけではなく、一週間みんなと過ごすことによって、団結力を高めるためでもあります。

このような活動を通して、チームワークが高まり、いつも楽しく部活動をしています。(生徒寄稿)



江間洋介氏

この心構えを生かし、バブル時代でも土地は下がるのが国際スタンダードという信念のもと、投機的な購入はせずもっぱら持っている土地を百パーセント生かし、遊ばせないようにされて来られた。そして現在大手商社に伍して、輸入木材の専門商社として日本で五指に入る輸入量を誇っている。

社員心得七ヶ条
 一 一時の風潮や表面的現象に惑わされず、常に信念を持ち、原理・原則を踏まえて事に当たろう。

取材 19期 手塚祥司

シリーズ 活躍する一高OB〔4〕 江間忠グループ会長 江間洋介氏

平成八年から十年ほど江間忠グループ各社(江間忠木材㈱・江間忠合板㈱など)社長を経て現在は若さ溢れる会長である。

不足し、スティックは一回で折れてしまうようなもので、修理しては使い、また、竹で防具を作るような苦勞をしながら満州帰りの部員と共に、氷上の格闘に熱中していたと伺った。



右から大石会長・斎藤副会長

春一番の冷たい突風の中、襟を立てて向かった先が近代的なビルが林立する中央区晴海三丁目の江間忠ビル。

第4回活躍する一高OBの訪問先は江間忠グループ各社社長江間洋介氏(高三期)だ。今回は大石会長、斎藤副会長に同行願ひ広々とした会長室に招かれた。

一高が市ヶ谷から武蔵野市に移転した直後、江間洋介氏は入学した。当時は普通科が3クラス、商業科が2クラスであったそう。一高時代は軟式テニス部に所属し、現存するコートで汗水流し、立花毅先生、二宮賢一先生、寺本隆雄先生、錦織重正先生など懐かしの先生方から教えを受けた。大学に進学されて、思いがけず創生期のアイスホッケー部に入部された。当時は運動具が

法政三中・三高の歴史及び

同窓会「法政半ノ木会」について

法政半ノ木会会長 今泉恒夫

茨城県石岡市の郊外半ノ木の地に昭和十六年六月財団法人大日本飛行協会の経営の係わる中央滑空訓練所が設立され、後に大日本滑空専門学校が開設され、大空を夢み憧れる若人育成の大地でありました。昭和二十年八月の終戦と共に筑波工業専門学校と改組改称、筑波中学校が開校されました。

その後昭和二十三年法政大学に吸収合併され、同四月付属第三中学校、昭和二十四年四月同第三高等学校が開設されました。数多くの若人を社会に送り出しましたがが当時としては市街地から離れていたこともあり次第に生徒数が減り、昭和三十年三月中学・高校とも最後の卒業生を送って廃校となりました。

あまりにも短い歴史に終止符をうちました。その後法政大学当局は三十数万坪といわれる敷地及び残された施設をいかし、石岡総合運動場として体育会系活動の拠点として有効に活用してきましたが、近年に至り平成八年RC構造

上です。全学年(中学七期高校四期)総会及び同窓会又は各学年毎、同窓懇親会等毎年開催しております。平成八年九月には同跡地法政大学総合運動場寄宿所正面玄関前に記念碑を建立、法政大学本部より保健体育部長、施設部長、総合企画部長等の出席をいただき、三中・三高当時の恩師、卒業生三百数十名が参集し、盛大に記念碑除幕式並びに記念式典を挙行いたしました。



昨年九月石岡総合運動場の大食堂で半ノ木会総会並びに同窓会懇親会を開催しました。法政大学吹奏楽部同好会の演奏に合わせ校歌、応援歌を出席者二百数十名が声高らかに合唱しました。

谷中敏夫

編集後記

朱にそめし 恩師の原稿

懷中に 快哉さげびし

酒の旨さよ(塩入)

三階建て合宿所を建設、第二期工事として大食堂その他の体育施設を平成十年に完成、さらに第三工事としてその他の施設充実の計画があると聞いております。

3月下旬の平日、夜の熱い編集会議でした(萩原) 家族で囲める夕食を恒久平和を切望する(海老原) 先輩、同窓生の皆様! お世話になります(近江) 皆の気持の入った編集会議の成果に感謝!(伊藤) 校了後生麦酒ゴク(手塚)

太平洋戦争に敗れた日本が戦後「新生日本の再建は子弟の教育にあり」の方針のもとに創立された一学舎がわずか九年間、中学七期高校四期、送り出した卒業生約八百名弱をもってそ、

法政半ノ木会は現在会員五百名弱をもって組織されておりますが全員六十才以